

2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【国語】【論理国語】	3 年	3 単位	教科書	論理国語 (第一学習社)	副教材等	常用漢字ダブルクリア 必修語彙ノート	履修対象・ 使用教室 等	3 年フロンティア (3－3 教室)
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5 段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト・確認テスト		5 回[単元のまとめ]・随時			20%		70%	10%
	学習プリント		授業時			30%		40%	30%
	語彙確認テスト		授業時			40%		10%	50%
	漢字確認テスト		授業時			40%		10%	50%
	〔観点別配分％〕		(3 観点の比重を％で示しています)						
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名		配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け【○●】
							知・技		思・判・表 態度
4 5	言語が見せる世界 (野矢茂樹)		20	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。			学習プリント	●	○
							単元テスト	○	●
							語彙確認テスト	○	●
							漢字確認テスト	○	●
6 7	身体の個性 (浜田寿美男)		15	・ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・人間は本源的な自己中心性にとらわれているという筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。			学習プリント	●	○
							単元テスト	○	●
							語彙確認テスト	○	●
							漢字確認テスト	○	●
8 9	リスク社会とは何か (大澤真幸)		15	・リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のあり方について考える。 ・リスク社会について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。			学習プリント	●	○
							単元テスト	○	●
							語彙確認テスト	○	●
							漢字確認テスト	○	●
10 11	目に見える制度と見えない制度 (中村雄二郎)		20	・筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を捉え、身の回りの制度について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・身の回りの制度について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする			学習プリント	●	○
							単元テスト	○	●
							語彙確認テスト	○	●
							漢字確認テスト	○	●
12 1	「である」ことと「する」こと (丸山真男)		15	・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・民主主義社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。			学習プリント	●	○
							単元テスト	○	●
							語彙確認テスト	○	●
							漢字確認テスト	○	●
学習の アドバイス	1 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、授業の時は 1 時間つきに最低 1 回、自分の考えを積極的に表現することが大切です。 2 ただ本文の主旨を暗記しただけでは読解力は身につきません。常に一つひとつの単語や文、段落の役割を考えながら何度も読むことが大切です。 3 教科書の教材本文のほかに、語彙力を増やすために語彙や漢字の確認テストを行い、「主体的に学習に取り組む態度」として評価します。 4 本文が長く、むずかしい教材もありますが、決してあきらめず、手を抜かず学習する根気を身につけてください。 5 担当者の説明や指示をよく聞き、まじめに取り組んでください。 ＊授業では、ワークシート（プリント）を使います。各自、「A 4（縦型） 2 穴ファイル」を必ず用意してください。								